

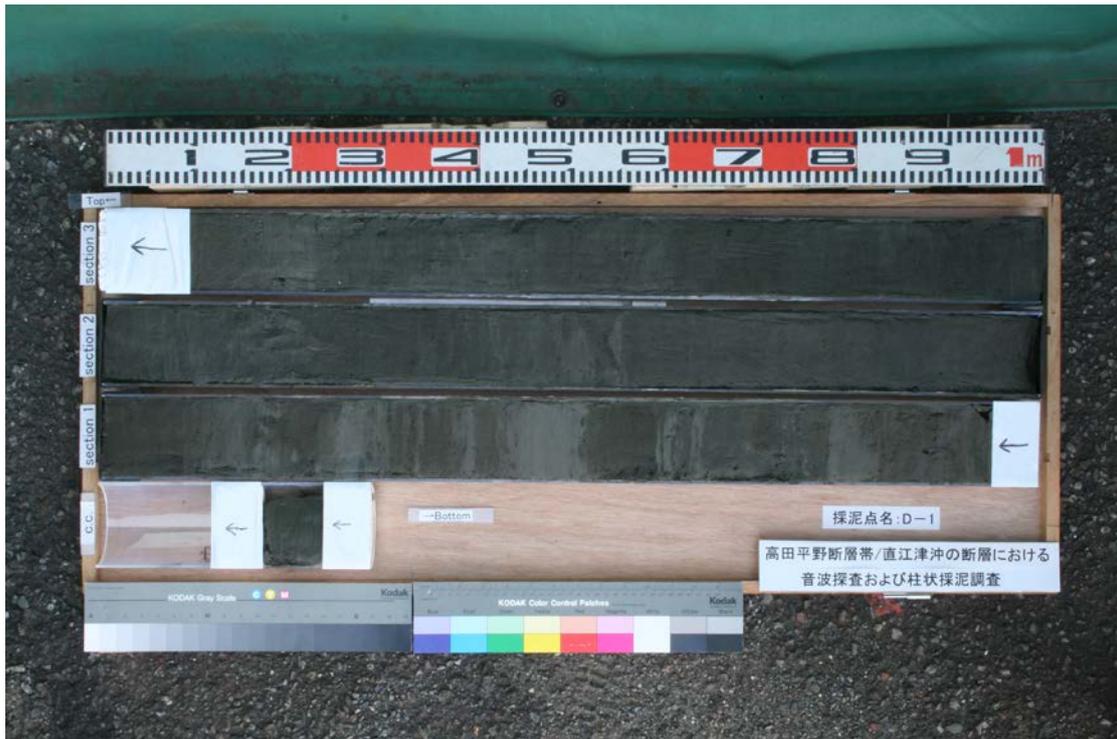
コア写真



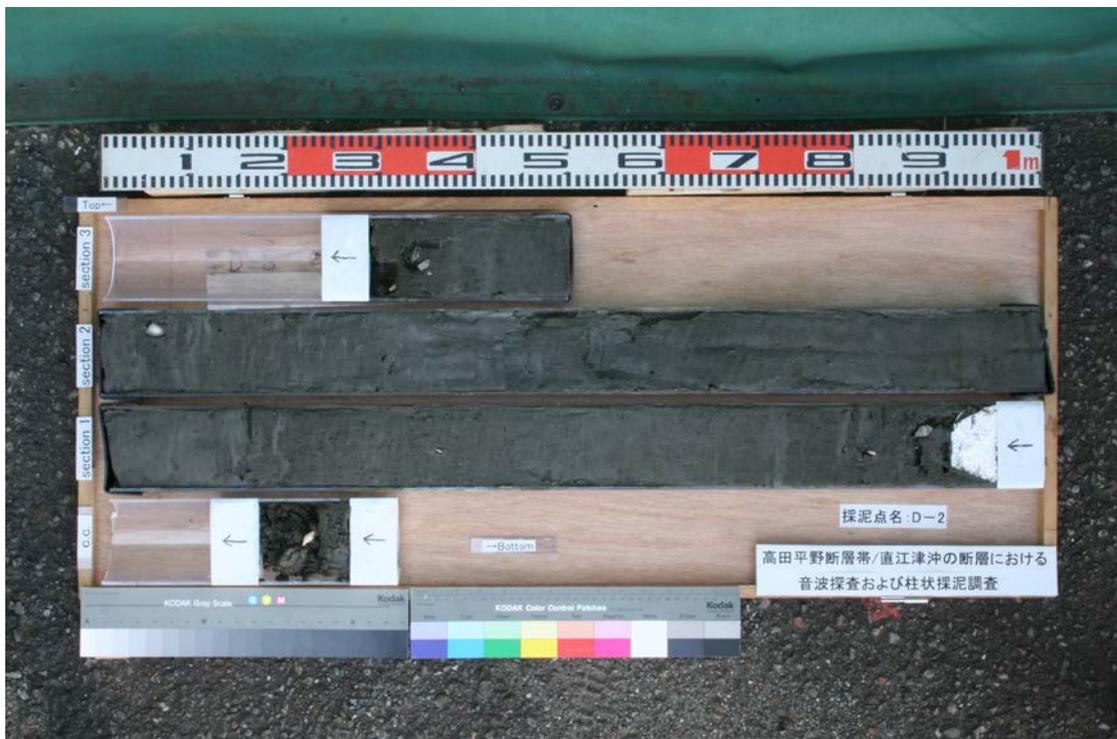
C-1



C-2



D-1



D-2



D-2-2

活断層調査（海上音波探査等）のお知らせ

独立行政法人 産業技術総合研究所では文部科学省が推進する活断層調査の一環で、高田平野西縁断層帯の海域延長部の調査を計画しています。この調査では、海上音波探査と柱状採泥調査を予定しております。
 漁業の操業、船舶の航行などにご迷惑をかけることの無いよう努めますので、ご理解ご協力をお願いします。

1. 調査期間 音波探査は平成 25 年 8 月下旬 ～9 月のうち、2 週間程度
 柱状採泥調査は平成 25 年 9 月下旬 ～10 月のうち、3 日程度
 （調査日程が決まり次第、連絡いたします）

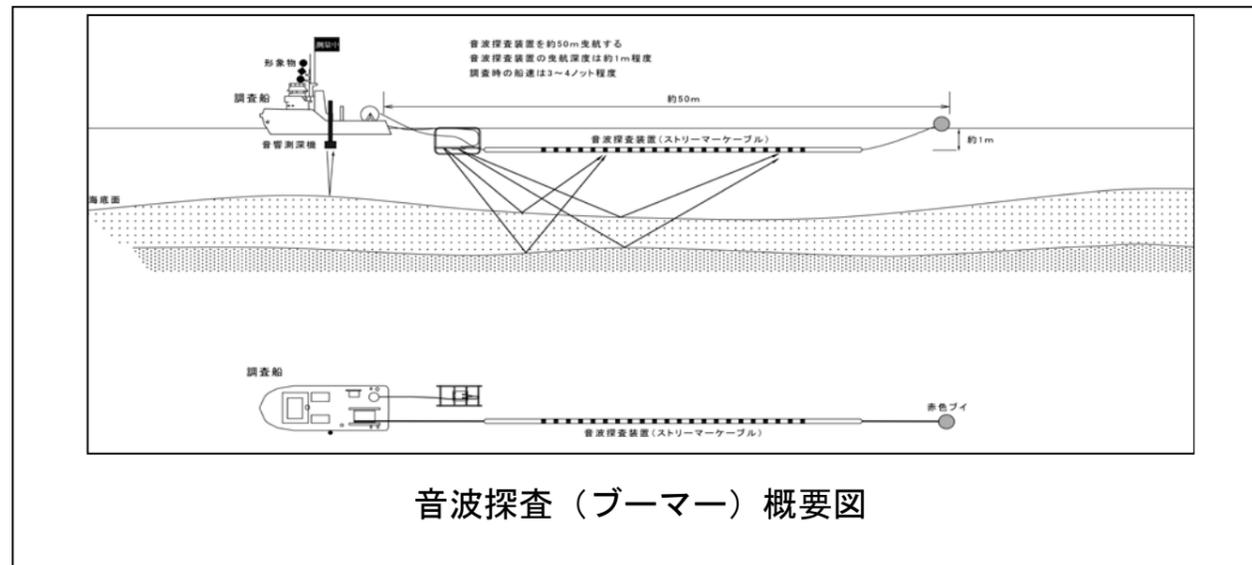
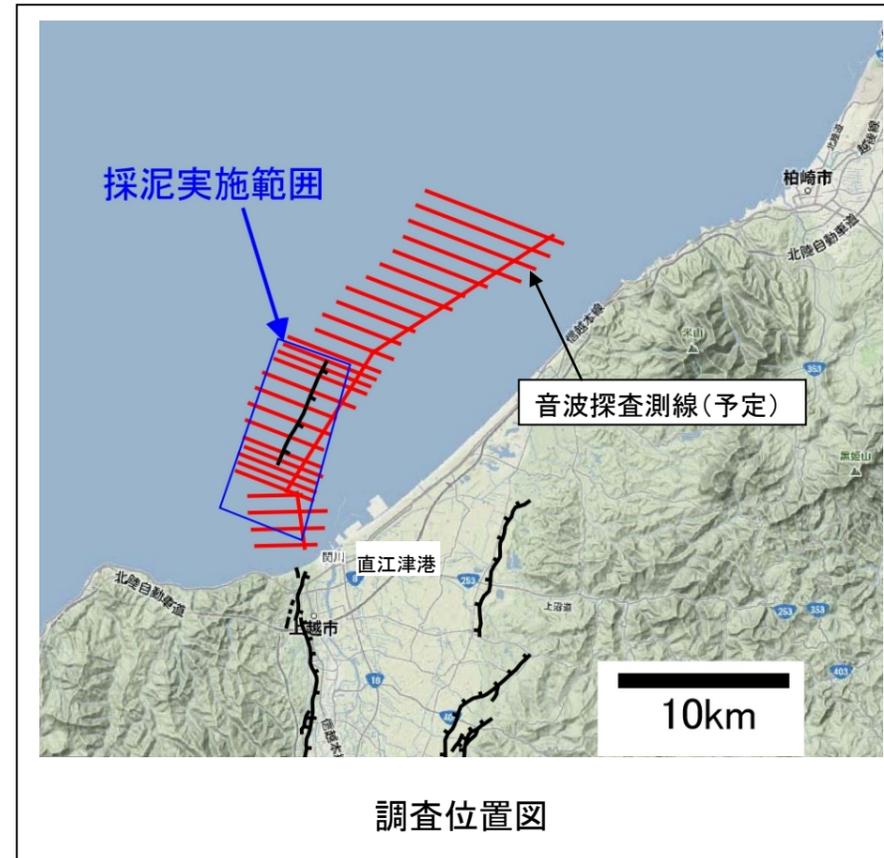
| 工程 | 8月 | | | 9月 | | | 10月 | | |
|--------|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|
| | 10 | 20 | 31 | 10 | 20 | 30 | 10 | 20 | 31 |
| 音波探査 | | | | ■ | ■ | ■ | | | |
| 柱状採泥 | | | | | | | ■ | ■ | |
| 荒天等予備日 | | | | | | ■ | | ■ | |

2. 調査海域 調査は直江津港から柏崎市米山町にかけての沖合

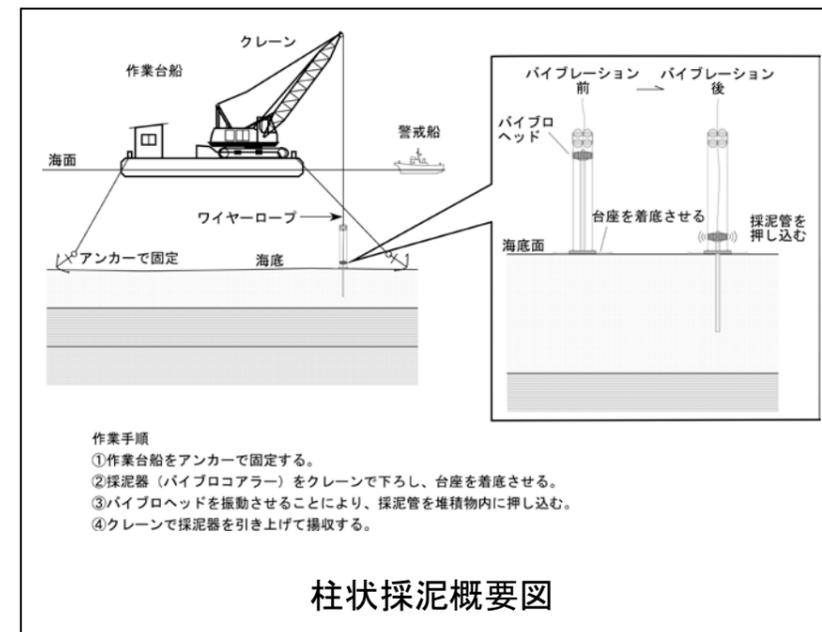
3. 調査内容

音波探査（ブーマー）：調査船から音波探査装置（ケーブル）を約 50m 曳航し、測線に沿って 3～4 ノットで航行しながら調査を行います。

柱状採泥：調査台船をアンカーで固定して、全長 8m 程度の柱状採泥器を船上から海底に向け投入し、海底の底質の採取を行います。試料採取後は接続されたワイヤーロープにて採泥器を回収します。



音波探査（ブーマー）概要図



柱状採泥概要図

- 作業手順
 ①作業台船をアンカーで固定する。
 ②採泥器（パイプコアラ）をクレーンで下ろし、台座を着底させる。
 ③パイプヘッドを振動させることにより、採泥管を堆積物内に押し込む。
 ④クレーンで採泥器を引き上げて揚収する。